

～「まちなか博物館&まちなか模擬オークション」事業と「縁日村&お宝鑑定会」事業～

従来から実施している「まちなか博物館&まちなか模擬オークション」に加え、今回新たに「縁日村」と「お宝鑑定会」を開催したことで、若年層や子供連れのファミリー層の集客に効果があった。また、チンドン屋パレードにより懐かしい雰囲気演出され、会場は老若男女を問わず、大変な盛り上がりを見せていた。

所在地：岡山県津山市元魚町54-2
TEL：0868-22-3294 FAX：0868-22-4666
URL：－
組合員数：10名
商店街の類型：近隣型商店街

商店街の概要と事業を実施した背景



JR津山駅から徒歩8分に位置するアーケード型商店街。アーケードの天井が鏡のように光ることから「銀天街」の名称がある。近隣の高齢者が、徒歩又は自転車で買い物に訪れるほか、周辺地域に新しくできた集合住宅から、自家用車で訪れる新規の顧客も増えつつある。一方で、店主の高齢化や後継者不足により閉店する店舗も増え、組合員数も10名にまで減少している。そのため、近隣商店街と連携したイベントを実施するものの、魅力ある店舗や業種が少ないため、個店の集客力・売上げの向上に結びついていないのが現状である。

実施した事業の概要

①「まちなか博物館」事業

歴史的なお宝や世界のアンティーク品を所有しているコレクターの協力を得て、商店街内のスペースに展示。展示物は、150年前の美術的なオルゴールや蓄音機、隕石や化石等に加え、火縄銃や浮世絵といった江戸アンティークなど多岐に亘っている。7月～12月までの土日に計50回開催し、合計1,025名の来館があった。

②「まちなか模擬オークション」事業

協賛店舗から無償で提供されたオークション用商品を競り物として、期間中に協賛店舗にて1,000円以上お買い上げ頂いたお客様に配布した参加引換券を持っている方のみ、オークションに参加できるものとして実施。358名がこれに参加した。

③「津山まちなかお宝鑑定会」事業

「まちなか模擬オークション」の入札開始前の催しとして開催。地域住民から募った参加者がお宝を持参し、それを専門業者が鑑定して金額の発表や総評をするというもの。初めての試みに、会場は大変な盛り上がりを見せていた。4回の開催で155名が参加した。

④「縁日村」事業

商店街で買い物をした金額に応じて参加引換券を配布し、これと引き換えに輪投げや射的などのゲームに参加できるというもの。この催しは、若年層や子供連れの家族に大変人気で、5日間で2,548名の集客があり、街の賑わいづくりに貢献した。



成果と成功の要因

本事業を実施したことにより、商店街の認知度が高まり、事業に対しての理解や協力が得やすい環境ができた。具体的には、運営支援のボランティアや展示物の提供を新たに申し出てくれる方が増え、事業に対する関心の高さが窺えることである。

また、FMやTV放送をはじめとした広報活動を広く行ったことで、多くの来街者で賑わい、地域コミュニティ形成の場を創出することできた。

今回の成功の要因は、従来からの継続事業に新たな事業を加え、老若男女を問わず、みんなが楽しめるイベントを行ったことである。また、近隣の高校や大学と密に連携が図れたことも成功の要因のひとつであると考えている。

今後の取り組み

今後もFMやTV放送を含めた広報活動により、様々な商店街事業を周辺エリアに広く発信し、新規に開業する際の付加価値を向上させる。これにより、所有者に空き店舗の運用を推奨することで、2年に1店舗を解消させ、平成30年までには空き店舗0を目指していく。

同時に、運営支援のボランティアや展示物の提供者など、地域の各支援団体と連携し、魅力あるイベント事業を新たに展開する予定である。資金手当としては、協同組合の賦課金と各種助成を有効に活用し、イベントの効率的な運用を模索していく。